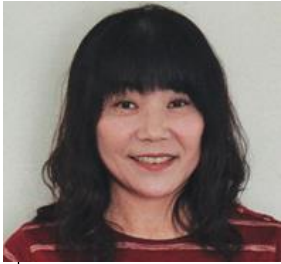
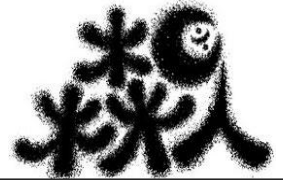


# 令和元年度全道女性農業担い手研修会

令和元年 12月12日(木)13:30 ~ 13日(金)11:30 (1泊2日)  
 ホテルポールスター札幌 (札幌市中央区北4条西6丁目)



講演 「農業人として～葡萄作り・ワイン造り～」  
 北海道指導農業者/株式会社 森臥～shinga～  
 取締役 竹部 麻理 氏(名寄市)



もち米、アスパラ、玉ねぎ、葡萄2ha を栽培する農家。高校卒業後、親元に就農する。

名寄は葡萄の栽培実績も経験も知識のない所だが、農家ならば好きなものを作っても良いのではないかと、25歳の頃に「ワインを作りたい」と思った。34歳の時に「杜氏」になる夢を持つパートナーと出会い、ワイン作りは二人の目標となる。2018年に名寄市がワイン特区となり、醸造所の開設を後押しされ、株式会社を設立し2019年10月に初仕込みをした。来春には、世界の名だたるワイナリーと同じ土俵に立つワインを世に送り出す。

葡萄作りの道は平坦ではなく、2度程キツパリと諦めたことがある。1度目は今と同じ葡萄・同じ面積を作り始めた2年目。1,400本の苗木が全部駄目なり、抜いて焼却処分をした。2回目は、その後新たに葡萄を植えた年に、「残すことすら難しい」と言われたパートナーの左腕の怪我。葡萄がというよりも、農業の継続さえ危がまれる事態だった。

しかし、全ての出来事は今に繋がっており、この程度の勉強では足りないという事なのかと自分を奮い立たせた。

「リスクを負えば道は拓ける」は座右の銘。若い時にやりたい事が明確にあったので、それに向かってきた人生だった。みなさんも、やりたい事に挑戦して欲しい。やってみないと分からない、諦めてしまっていたら今の自分はない。



## 「農業経営改善につなげよう！ GAP取組現場からの提案」

(1)「新たな一歩の踏み出し方」

株式会社 Kalm 角山 代表取締役 川口谷 仁 氏 (江別市)



**Kalm**  
 Aim to Kalm future!

### 事業規模

- 敷地面積2ヘクタール、総事業費15億円
- 480頭フリーストール牛舎、自動搾乳ロボット8台
- 乳牛560頭、年間生乳出荷量5,536t(平成30年度実績)
- 平成29年生乳出荷量実績4,833t
- 100頭哺育舎
- 150kwhバイオガスプラント施設

フリーストール牛舎とフィードブッシャー



バイオガスプラント施設



### 沿革

- 2014年 1月 設立
- 2015年 8月 自動搾乳ロボット稼働開始
- 2015年11月 バイオガスプラント施設稼働開始
- 2015年12月 自動搾乳ロボット 全8台稼働開始
- 2016年 7月 農場HACCP認証取得
- 2016年 視察件数241件2,236名
- 2017年 5月 社外取締役登用
- 2017年 6月 資本金3,000万円へ増資
- 2017年11月 JGAP認証取得
- 2019年 1月 代表取締役交代 CEO/CFD/COO 設置
- 2019年 6月 農場HACCP/JGAP 更新

### 特色 農場HACCP/JGAP認証取得



作業の平準化  
 安全な牛乳の供給

安心・安全から  
 信頼と約束へ

### 分かりやすい実務執行

- ・ヒト、モノ、カネを如何に稼働するか
- ・情報を如何に管理、共有するか

↓  
 マネジメントシステムの導入



なぜ農場にとってマネジメントシステムが必要不可欠なのか？

日々進化する畜産を取り巻く環境…

- ☑効率化
- ☑人の確保、教育
- ☑食の安全性の確保
- ☑大規模化
- ☑高度な機械化
- ☑生産性の向上 etc…



農場のアップデート

※マネジメント=管理=組織の目的を効果的かつ効率的に達成するために組織そのものの維持や発展を図ること (Wikipedia) 出典 高橋とんとん診療所

## 農場HACCPとは

- ・牧場運営に対する**システム認証**
- 改善の仕組み、プロセス重視

## JGAPとは

- ・牧場で生産される**製品に対する認証**
- 計画・実績の記録重視

## 当社における農場HACCPとJGAPの関係



認証取得を目指す経営者の心得

農場の人には量的、質的制約

↓  
認証を取得しても100満点の農場を目指さない

**燃え上がる願望の達成を描く信念** :ナポレオン・ヒルの成功哲学

**悠々として急げ！**

## 経営者のキーワード

目的→個人の目的は？→どうなりたいのか？

↓

理念

↓

事業の目的・理念

↓

家業から事業→酪農家から酪農業

↓

理念経営

## 今後求められるキーワード

家業から事業へ

生産工程の明確な裏付け

生産者責任

信頼と約束

## 認証取得を目指す経営者の条件

経営者は**楽観主義者**であること

～**悲観**は気分であり、**楽観**は意思である～

～**楽観**的に構想し、**悲観**的に計画し、**楽観**的に実行する～



アンビシャスファーム 株式会社

**Ambitious Farm**

代表取締役 柏村 章夫氏(江別市)



社会人の経験を経て、大学の友人の実家に就農する。

2014年 Ambitious Farm 株式会社を設立。正社員 7 名、従業員 24 名。女性に支えられている会社だが、道具の場所が不明瞭、指示が曖昧等の働きにくさからのストレスもある。

そこで、働く人が安心して農業ができる仕組みを作るため、2017年に JGAP に取り組み、SDGs等の社員研修等を実施する。最初はポカンと聞いていた人達も、やっていることを明文化していくと、理解が深まり自分で考えて作業をする人になる。GAP の内容は、日々やっていることなので、トライしてみると良いと思う。

高校生が GAP を取る時代。これがスタンダードになるだろうし、食を扱う現場の基本的なルールの意味がある。デメリットは作業が増える、GAP 自体が流通に浸透していない、記録を残す準備が大変など。記録の煩雑さに関しては、現場から事務担当に電話で連絡し、入力作業を軽減した。メリットとしては、在庫管理が整う、整理整頓ができる、ルールやマニュアルで作業の危険回避ができ、指標を働く人へ示す事ができる。取得することでやる事に繋がる。

GAP はこれがルールだと、がんじがらめに考えない。平成 29 年度農業の未来をつくる女性活躍経営体 100 選「WAP100」に認定される。

## 持続可能な農業をかんがえる

- 多様性のある人・野菜・事業
- ・人手不足

働きやすい職場をまず作ること  
・環境整備、整理整頓をGAPを活かして

データを取る出資性  
・簡やセンに頼らない

自分たちの当たり前を嫌う  
時代と共に進化したい

GAP の必要性、一つの目安



## AmbitiousFarmの取り組みとSDGsの関係



## 取り組んでいるコト

「あしもとブランディング」  
知ってもらい わかってもらい えらんでもらう

戦略的なSNSでの情報発信

→ ターゲットを意識した内容 (プロ情報と行動を生む)

→ フォトジェニックな野菜のピックアップ

→ 自分たちの世界観を発信する → Fanをつくる

GAP → 働きやすい環境づくりのため 持続可能な農業を

女性の活躍推進 → 農林水産省主催：女性農業リーダー育成塾

→ 北海道道庁主催：地域フード塾

GFP 「グローバル・ファーマーズ・プロジェクト」  
海外販路開拓 → 5年後・10年後を見据えて海外販路



「私がブランドを盛り上げるためにやった3つの活動」  
 YUME YASAI(ゆめ やさい) 只野 夢子 氏 (石狩市)



高校の先生が農業のあらゆることを教えてくれたことから、農業って面白いかもと、思うようになった。21歳で親元就農したが、1年目で農業が重労働であることを知る。経営面積の内の3haで野菜を栽培し、その販売担当になったことから、「YUMEYASAI」というブランド名を付け、野菜販売の一つの手法としてSNSを駆使し差別化を図る。

今日は、女性らしさを忘れずSNSを活用してあなただけのブランド作りお奨めしたい。私が心掛けていることは①毎日メイクをすること ②毎日同じ時間にSNSを投稿すること ③対面販売をしてフォロワーを増やしていくこと。子育て中ではあるが、夜9:00には投稿すると決めている。顔を出すと閲覧数が多くなる、インスタグラムの写真は1枚で、文字は書かない方が「いいね！」が付き易い。

最近はYouTubeも始めた。札幌市内の美容院とのコラボで野菜を直売するなど、様々な情報を発信する事で、新たな情報の提供を受けることも増え、勉強する機会にも繋がっている。

感謝状  
 YUMEYASAIの夢子さんからは、  
 元気・明るさ・笑顔を確かに  
 頂戴しました  
 女性農業担い手研修会参加者一同



### 研修会風景



全道女性農業担い手研修会の  
 講演内容をまとめた冊子  
 があります。ご希望の方にはお送  
 りします。  
 ☎(011-271-2255)へ